

2011 SEA GULL FC

会 報



Vol.49

本年3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様に心より
お見舞い申し上げます。



「2011年東京協会キス釣り名人戦（保田）」ご参加の皆さん、お疲れさまでした。

1. ストロベリーカップ・オープンカレイ投げ釣り大会

3月5日夕刻から翌日6日夕刻まで、恒例の東京協会カレイ投げ釣り大会が開催されました。オープン大会としての名称『ストロベリーカップ・オープンカレイ投げ釣り大会』を戴いての、記念すべき第1回大会です。

5日昼過ぎに東京を発って、釣果が上がっているとの情報をもとに一路常磐道を大津に向かいます。パーキングエリアで井上会長と合流。天候にも恵まれて快適なドライブを楽しみながら北上し、開始1時間前にはエサも購入して大津港内の車横付けポイントで開始時間を待ちます。

周りの方に何うと「今日はサッパリ」とのことでしたが、こちらには協会長・会長が付いていますので「何とかお魚さんの顔は見られるだろう」とのアマーイ読み。

しかし、実際はそんなに甘くはなく、深夜まで粘り井上会長の釣った「ハゼちゃん」のみ。「キープすべきか否か？」思い悩んだ末に「キープ！」したのが後から考えれば良かったのですから釣りは分かりませんね。

翌日のことを考慮して近くのスーパー銭湯で仮眠をとり、睡眠充分の状態です。

前日と同じく港内のポイントに向けて歩いていると、これはビックリ、何と何と我がシーガルFCのスーさんが今まさに竿を出そうとしているところにバツリ。

「仕事の都合で行けないかも・・・」と言われていたのですが深夜に出発しての釣行とのこと。それにしても、広い釣り場でこうして出会えるのは本当に幸運としか言いようがありません。

木っ端カレイを釣った後、しばらくしてスーさんが慎重にリールを巻きはじめ、良型の本命ゲット。時合とばかりに投入して井上会長が小型の本命を追釣するも時合は一瞬で終わり、あとはマツタリの感。早めに切り上げて、一路集合検量場所の浮島に向かう私達でした。

今大会の成績は下表のとおりでした。お疲れさまでした。



スーさん、渾身の一尾！



★本賞の部

順位	魚種	全長(cm)	氏名	クラブ名
優勝	マコガレイ	46.9	伊藤 公胤	TFS
2	マコガレイ	45.6	小笠原 朗	TFS
3	マコガレイ	42.0	澤田 信也	投狂 COM
4	マコガレイ	41.2	寺西 尚樹	TFS
5	マコガレイ	40.8	横手 三偉	千葉サーフ
6	マコガレイ	40.1	長谷川将継	TFS
7	マコガレイ	39.4	川原 誠	伊豆サーフ
8	マコガレイ	38.3	土平 啓久	神戸投翔会
9	マコガレイ	37.4	鈴木 美	シーガルFC

★他魚の部

順位	魚種	割合(%)	氏名	所属クラブ
優勝	マハゼ	75.7	井上 富浩	シーガルFC
2	マハゼ	75.3	山口 徹	投狂 COM
3	シロギス	62.4	円谷 政弘	TFS
4	スズキ	59.8	菅原 正典	TFS
5	スズキ	50.8	利根川俊一	TFS

2. 4 月度例会（丹後～敦賀）

4月30日、東の方はサッパリの釣果ということで、思い切った例会を敢行してしまいました。

29日、日にちが変わる前に東京を発ち、一路沼津へ。沼津で井上会長と長男の井上浩太君と合流して西を目指して走ること東京から約600km、そこは天橋立でした。今にも泣き出しそうな空、かつ強風下での投げ釣りとなりましたが、考えてみると今年は震災などもありキス釣りの出足が遅れてしまい私にとってキスの初釣りでした。アタリが遠のき地元の方達も帰られ、初釣りということもあり投げ練を兼ねた遠投を試みましたが、いきなりの遠投は△リッ。歳はとりたくないものジャー。

いよいよ雲行きも怪しくなり雷が鳴り出したので即撤収。



【天橋立で記念撮影】



【栗田浜での会長親子ツーショットです】

風裏の栗田浜に移動して2時間ほど投げるも釣果は芳しくなく、最終目的地の敦賀に向かいます。小浜や三方五湖などの懐かしい風景を見ながら車は気比の松原海岸に到着。

そこは風もなく薄日さえ射す別天地でした。早朝からの投げ釣りで身体のそこかしこがギシギシいっていましたが、こんな素晴らしい環境の中で投げられることに満足。空には悠然とミサゴが飛んでいました。敦賀からは速攻で東進して、日が変わる直前に帰京。総行程1300kmの遠征例会は無事に終わりました。

名人戦の数日前、『型はいいヨ！』『アタリがあるけど乗らない！』と携帯に届くのは、試釣に出られた同じクラブの井上会長と井上裕由氏からの貴重な前情報。

試釣に行けない会員への気遣い…。嬉しいですねえ。

…こんな時は細軸の鋭い針を選ばないとねっ！と、仕掛けを作りながらニヤリ。

針先に向ける眼差しは必殺仕掛人？いやいや、ただの内職オヤジです。

（箆定さん『必殺』お借りしてすみません）

我が家の最凶針の登場に、家族からのプレッシャーも最大、Max！。

毎度完成した仕掛けの針が、出した針より少ない…算数苦手なんですよ。

仕掛けにならなかった針は何処へ？被害届け、指名手配の連続。家族は仕置人の形相…。

連夜の仕掛け作りでかろうじて準備も整い、ベストコンディションで夜明け前の保田入り。各クラブの名手降臨に圧倒されながらも、ここは冷静に状況判断を…って…

右も左も泥濁りじゃあ～りませんか（古っ！）

幸いにも風が殆どなく、まだウネリも入っていない様子。

こんな時は、リスク覚悟で河口の横に入るか？、堅実に正面か右の根周りを狙うか？

でしょうが、どのみちチャレンジャー、匹数勝負（意味不明）、え～い河口じゃ！

日頃屁理屈こく割には、肝心な所はいい加減です…ハイ。

昔読んだ本に、かの有名な力石さんが「こんな時は少しでも濁りの無い場所を…」って解説されていたよねえ…と記憶をたどり、左に歩きながら沖を見れば、濁りの薄い場所がピンポイントで点在。こりゃ～大物釣りだなあ…と思いつつ、釣り座を選ぶと最も河口寄りの左端。やはり皆さん川の近くは避けましたか…。

まあ、とりあえずの第1投で、まずは川から流れ込む草、ゴミの付着がなく一安心。

2投目でフグに遊ばれて小細工している間に、右隣のフロンティアサーフの長谷川氏にヒネ？名手に最初から置いていかれると届かなくなるっ！と、慌てて河口に向け投入…何の根拠もありません。いい加減さをいかになく発揮。

幸運にもここで2匹ゲット！ヨシっ！と、ポイントが正面になるように移動しかけたところで、目指した場所に井上裕由氏登場！…で、振り返りニヤリ。あっ…見てたのね。そ、そこは私の釣り座。ベテランならではの洞察力に感服する間もなく、4連掛けられ真っ青！

冷静に冷静に…ここで本日最大のギャンブル。

長谷川氏の釣るヒネを狙うか、井上氏の掛けたピン兄さんを狙うか？

やはりヒネは著しく掛かりが悪い！普通ならピン兄さんでしょうが、掛からないキスちゃんには掛かってもらえない！…つくづく天邪鬼ですねえ…。

型も良いから、元気に泳ぐ力を借りましょ。必殺（くどい！）の仕掛けでサビキまくり。

瞬掛け？いえいえ、もうこの辺になると思考力無く、愚直にサビクだけ。

思考停止早すぎ。ビタミン足りないかな？

波打ち際で、ポロリしたキスちゃんが波に漂うのに気が付かず、皆さんの声で拾いに行くという（みんな優しいなあ…）醜態を晒しながらも、何とかツ抜け。

その後も一匹ずつ拾い、そこそこの釣果ながら、どうにかカップを手にする事ができました。事前情報をくださった先輩お二方のおかげですね。喜びもいっそう大きくなりました。

最後になりましたが、台風が迫る中でも丁寧な運営と検量をしてくださったプロジェクトの江戸前サーフ様に御礼申し上げます。釣果を隠すために、砂だらけだったキスの件は内緒にしてくださいね。

来年も楽しい行事になりますように。



上は、表彰式で森協会長から優勝杯と記念品を受けるスーさんです。
 右は、喜びを爆発させたスーさん。
 楽しい大会でしたね。



大会終了後、海浜のクリーンアップと事故防止講習会が開催されました。



左上) 海浜清掃をする参加者
 右上) 井上事故防担当部長の説明に耳を傾ける参加者
 左下) ロープワークを学ぶ参加者

4. その他、連絡事項など

1. 東日本大震災を受けて、震災直後から会員の安全確認・一時的な釣行自粛・義援金送金などが実施されました。
2. 6月4日(土)19時30分より、森口シェフのお店「好魚猫」にて鈴木 美さんの「名人位」獲得をお祝いで、ささやかな祝勝会を開催しました。
3. 7月10日に開催される「クラブ対抗キス釣り選手権大会」には、東京協会からシーガルFCが2チーム参加いたします。
(Aチーム) 井上(富) 鈴木 井上(裕)
(Bチーム) 森本夫妻
4. 6月12日開催のダイワSBC(福田会場)に井上会長、おっちゃん、ときねえさんの3名が参戦し、井上会長が6位GET。ブロック大会進出、おめでとうございます。
トーナメント「ときねえさん」は3年連続レディス賞GET。おめでとうございます。
おっちゃん、ときねえさん、遠路、大阪からのご参加、おつかれさまでした。



【編集後記】



東日本大震災・大津波・原発事故発生から3ヶ月。
発生の5日前に甚大な被害を被った大津やいわきで
釣りをしていた私は、大変複雑な心境にとられる
時があります。
しかし、自然は人類に大変過酷な試練を与える一方、
癒しも与えてくれています。
写真はアジサイが咲き誇る白山神社です。
毎年、この時期「あじさい祭り」で賑わいます。
やすよし